

未来へ

筑西のチカラ

未来に残したい 筑西の魅力を絵本に

水越 葉子さん

宇都宮大学で美術教育を専攻する水越葉子さん(みずこしよこ)は、卒業制作で下館駅北口を紹介する『しもだておさんぽえほん』を手がけました。大学卒業を目前に、水越さんにお話を伺いました。

——絵本を作ったきっかけを教えてください

生まれ育った筑西のまちを題材にした卒業制作ができればと思います、お散歩しながら手にとり楽しめるような絵本をつくりました。下館駅北口は坂が多く、和菓子店が多いことが特徴です。地形を感じ、知らない小道を通って、和菓子店を巡って。そんなふうの下館のまちを楽しめる絵本に仕上げました。当面、一般配布の予定はありませんが、公共施設などで設置してもらいました。

——商店街や和菓子店の店内が細かく描かれています。どのように制作したのですか

ゼミで一緒にまち歩きをして写真を撮影したり、和菓子店を1軒ずつお伺いして、店内の写真を撮らせていただきました。店舗の特徴や歴史のお話を伺い、楽しく制作することができました。

——この絵本で、どのようにまち歩きしてほしいですか

小さい子からご年配の人まで、絵本の情報を頼りにまち歩きをして、いろいろな発見をし

ていただけたらと思っています。商店街を歩く人が増えてくれたらうれしいです。

この本は、持ち歩く人が一目でわかるよう、表紙を鮮やかな黄色にしました。本を持つ人同士で、訪れた和菓子店の話題などをお互いに話してもらおう交流が生まれればと思っています。

また、あえて中身に色を付けなかったのは、自分だけの色を見つけてほしいと思ったからです。自分の感性で商店街を感じ、自分だけの物語を作ってほしいです。もちろん、この絵本が初

めてこの地を訪れるきっかけになってくれればと思います。

——間もなく大学を卒業されますね

卒業後は、市内の社会福祉法人への内定をいただいています。自分が続けてきた美術の分

野で地域と関わりたいと思っています。これまでは個人制作が多かったので、今後は新しい環境で学ばせていただき、自分自身をつくりながら利用者や地域のみなさんと作品をつくっていきたいと思っています。



『しもだておさんぽえほん』 閲覧場所

- スピカビル 1階総合案内
- 下館駅
- 中央図書館
- 明野図書館
- 市民協働まちづくりサロン (アルテリオ)



筑西市立図書館ホームページ「筑西市電子図書館」からご覧いただけます